

# 田中周刻記

でんちゅうちようこくき

おかくらてんしん りそ  
第六話 ~岡倉天心の理想~

Takashi  
作 ©いとうたかし



さて、  
「活人箭」だが…



てんかくいひまる  
展示会の日の夜…

倅太郎は  
岡倉天心の家に  
呼ばれました。  
天心は  
ビールを  
飲みながら、  
奥さんたちと  
談笑して  
いました。



ゆみや  
弓矢はいらぬ、  
ただのポーズだけで  
よろしい

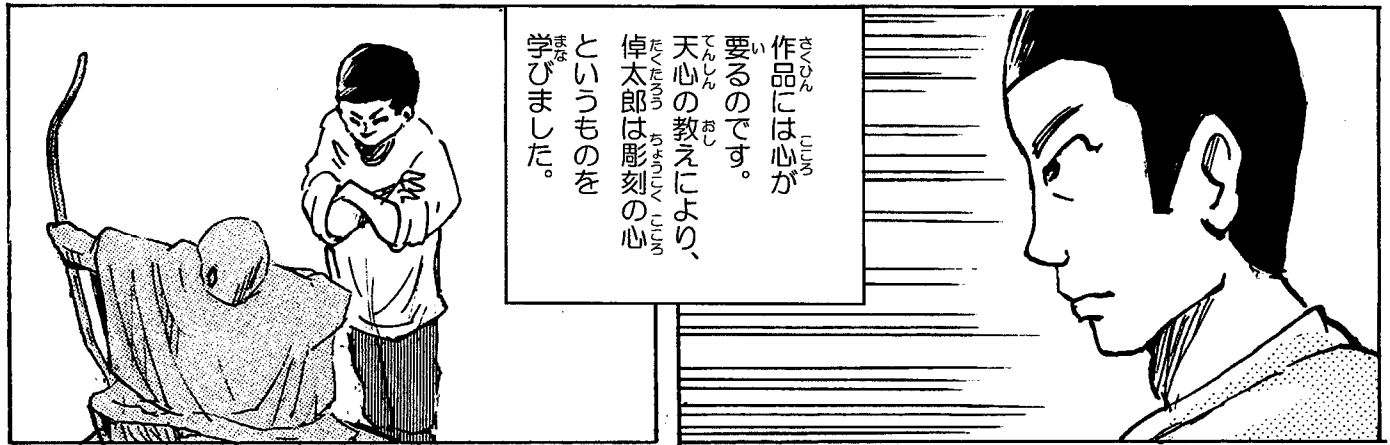


なぜあれに  
弓を持たせたのだ

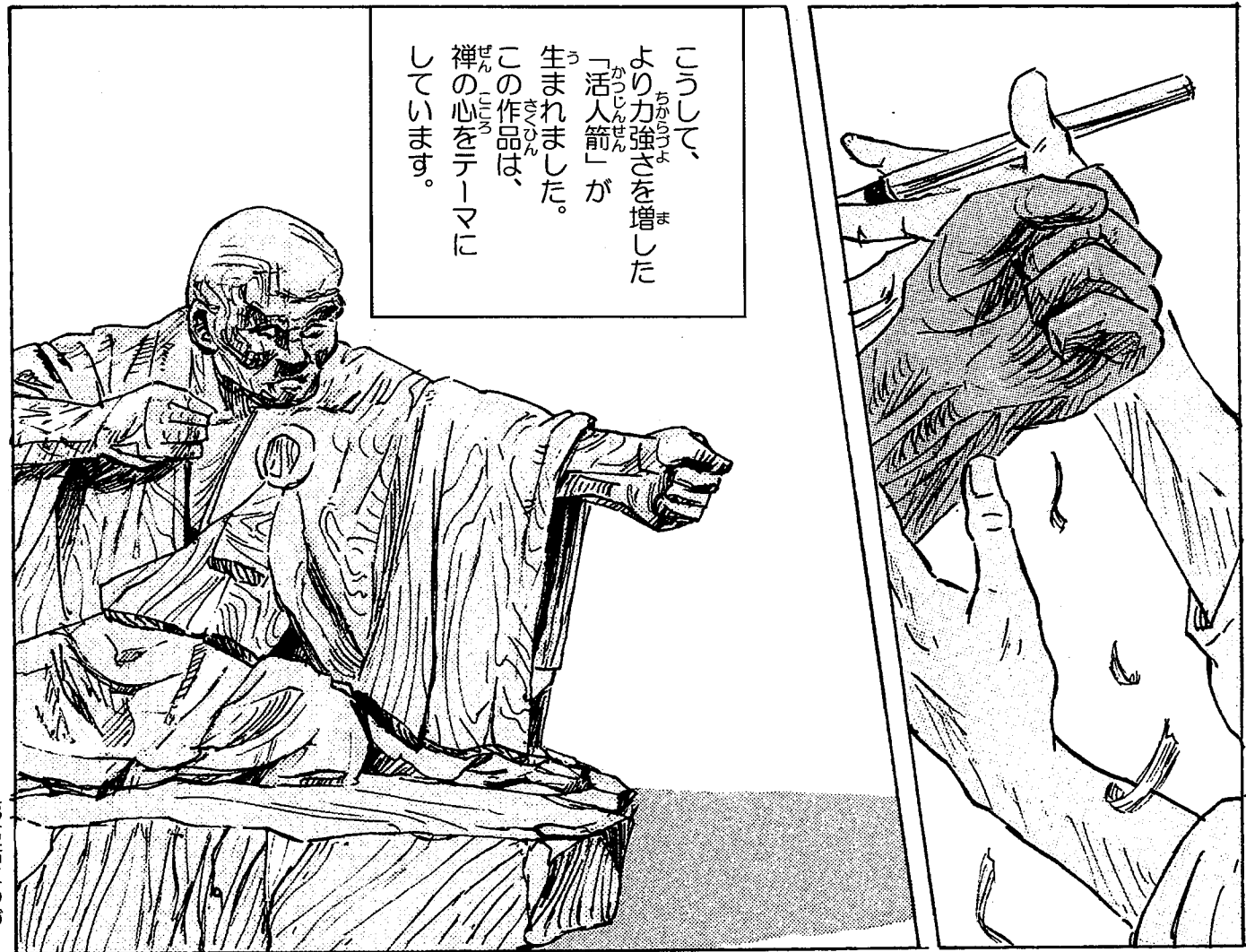
あんなことでは  
死んだ豚も  
射られまい…



弓ゆみなんか  
持もたせせずとも、  
何人なんびとでも射い抜ぬくぞ  
という  
意い気きをしめ  
せ



作さく品ひんには心こころが  
要いるんです。  
天てん心しんの教おしえにより、  
倬たく太た郎らうは彫ひ刻こくの心こころ  
というものを  
学まなびました。



こうして、  
より力ちから強つよさを増ました  
「活かっ人しん箭せん」が  
生うまれました。  
この作さく品ひんは、  
禅ぜんの心こころをテーマに  
しています。